

第 10 回巨大津波災害に関する合同研究集会に参加しました (2020/12/17-2020/12/18)

テーマ：分野横断型研究集会

場 所：オンライン

12月17日(木)～18日(金)の2日間、第10回巨大津波災害に関する合同研究集会(主催：東北大学)がオンラインで開催されました。また今回は、研究集会に加え、2つの企画セッション(津波解析ハッカソン報告セッション、故藤間功司教授(防衛大学校教授、東北大学大学院修了)追悼記念ワークショップ)も同時開催されました。

当研究所からは、災害リスク研究部門、地震津波リスク評価(東京海上日動)寄附研究部門から6名の教員が発表を行いました。各発表者の講演題目等は次頁以降に記載しております。

今後も当研究所では各種学会、シンポジウム等を通して、多くの研究成果を国内外に発信して参ります。



今村文彦 教授



山下啓 准教授



マス・エリック 准教授



宮本龍 助手



保田真理 プロジェクト講師

文責：門廻充侍(災害リスク研究部門)
(次頁へつづく)

※下線は当研究所所属の教員

故 藤間功司教授追悼記念ワークショップ

発表者	タイトル
今村文彦	藤間功司先生と共に歩んだ津波研究
<u>越村俊一</u>	斜面上・島周りの津波伝播の理論的研究

第 10 回巨大津波災害に関する合同研究集会

発表者	タイトル
保田真理	サステナブルな減災意識の向上を目指す教育手法
千葉愛理, <u>Suppasri Anawat</u> , <u>今村文彦</u>	スダダ海峡における地震性・非地震性津波による津波観測システムの検討
<u>山下啓</u>	土砂輸送に伴う混合流体の密度変化と運動量交換を考慮した津波移動床解析
<u>宮本龍</u>	建築年代を考慮可能な津波ベースシア係数を利用した津波損傷度評価の一手法
藤皓介, <u>Suppasri Anawat</u> , <u>今村文彦</u>	産業連関表を用いた津波経済リスク推定と海面上昇の影響評価
川合将矢, <u>佐藤翔輔</u> , <u>今村文彦</u>	ミリング行動に着目した津波避難行動特性の解明—名取市閑上地区の事例
<u>マス・エリック</u>	強化学習を用いた津波避難の最適に関する研究